

## 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

### I. 専攻別志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、受験する選考方法および研究計画等について相談すること。なお、各志望区分の教員の連絡先については、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に問い合わせること。

#### (1) 社会基盤工学専攻

志望区分	研究内容 (担当教員) (2026年4月現在)	対応する教育プログラム		
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)	修士プログラム
1	応用力学：粒子法による流体解析、流体構造連成解析、乱流モデリング、海底トンネルの安定性評価、剛塑性有限要素法の開発と応用（西藤潤准教授・Khayyer, Abbas 准教授）	人間安全保障工学分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
2	構造材料学：コンクリートを含む土木材料の諸性質、コンクリート構造を含む土木構造物の耐久性能・維持管理、設計法・シナリオデザイン（山本貴士教授・高谷哲准教授）			
3	構造力学：鋼・複合構造物の力学性状と合理的設計法、構造物の残存性能の非破壊評価、鋼構造物の維持管理と耐久性向上（北根安雄教授）	応用力学分野， 人間安全保障工学分野		
4	橋梁工学：構造物の空気力学、空力不安定現象、流体関連振動、耐風安定化対策、耐風設計法、着雪、耐雪設計法、飛来塩分の輸送・付着機構、風災害の防止と安全性評価（八木知己教授・松宮央登准教授）			
5	構造ダイナミクス：構造物の動的応答と制御（免震・制振）、耐震設計法、構造デザイン、構造物の更新技術（高橋良和教授）			
6	水理環境ダイナミクス：移動床水理学、混相流の力学、群集挙動の力学、開水路流れの水理学、河床・河道変動の力学、破堤の水理（原田英治教授・音田慎一郎准教授）	人間安全保障工学分野		
7	水文・水資源学：水循環、水文予測、リアルタイム水文予測、水工計画、水資源管理（立川康人教授・金善攻准教授）			
8	地盤力学：地盤や岩盤の静的・動的挙動の解明、計算地盤力学、土と流体の相互作用、土と建設機械の相互作用、岩盤斜面の安定性評価、歴史的地盤構造物の保全（肥後陽介教授・橋本涼太准教授・Zhu, Fan 准教授）			
9	社会基盤創造工学：車両-橋梁連成系の構造動力学、橋梁構造物の環境振動、橋梁ヘルスマニタリング、移動橋梁点検、スマートセンシングシステム、走行荷重作用下の高架橋の耐震性能評価（金哲佑教授・張凱淳准教授）			
10	空間情報学：リモートセンシング、地理情報システム、デジタル写真測量、都市空間の3次元データの生成と時空間解析（須崎純一教授）			
11	景観設計学：景観デザイン、都市デザイン、土木施設アーキテクチャ、風土・景域環境、地域計画、都市形成史（川崎雅史教授・山口敬太准教授）			
12	沿岸都市設計学：沿岸都市の水理構造物設計、粒子法、数値波動力学、数値流体力学、数値流砂水理学、混相流の計算力学、都市群集行動のマイクロモデル（後藤仁志教授・五十里洋行准教授）			

志望区分	研究内容 (担当教員) (2026年4月現在)	対応する教育プログラム		
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)	修士プログラム
13	応用地球物理学：地球物理学的手法による浅部から深部にいたる地下構造調査や社会的に影響のある地学現象のモデル化、地下情報可視化技術（福山英一教授・武川順一准教授）	人間安全保障工学分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
14	地殻開発工学：二酸化炭素地中貯留、放射性廃棄物処分、エネルギー資源開発等の岩盤工学プロジェクトへの貢献を目的とした岩石の力学・水理特性の研究（奈良禎太准教授・保田尚俊准教授）			
15	流体資源エネルギー学：石油、天然ガス、天然水素、地熱などのエネルギー資源および鉱物資源の環境調和型開発技術、CCS、CCUS、水素の地下貯蔵などのカーボンニュートラルに貢献する技術（村田澄彦教授）			
16	砂防工学：流砂系の総合的土砂管理、山地流域における土砂動態の予測・モニタリング、土砂災害の機構と防止対策、水・土砂・河川生態系構造の解明（中谷加奈教授・山野井一輝准教授・高山翔揮准教授）			
17	防災水工学：洪水流と河床変動の3次元構造、土砂生産と洪水への影響予測、土砂移動現象の観測と実験、河川堤防決壊のメカニズム、都市の内外水氾濫の水理、河川環境保全（川池健司教授）			
18	地盤防災工学：大地震時の地盤・構造物系の被災程度予測、降雨や地震による地盤の複合災害予測、複合材料を含む地盤の力学的挙動解明（岡岡良介教授・上田恭平准教授）			
19	水文気象工学：気候変動による降雨場への影響評価、気象レーダーを用いた降雨予測、レーダー水文学、降雨場の衛星リモートセンシング、都市域の水・熱循環とその予測、河川流域の形成過程（山口弘誠教授）			
20	海岸防災工学：極端な高潮・高波・津波のモデリング、ハザード・リスク評価および観測、気候変動による沿岸部への影響評価と適応策、巨大津波リスクの長期評価（森信人教授・馬場康之准教授・志村智也准教授）			
21	防災技術政策：リアルタイム洪水予測、地球温暖化・土地利用変化が及ぼす流域水循環への影響評価、降雨流出・洪水氾濫解析、水災害に対する戦略的対策策定（佐山敬洋教授・田中智大准教授・Lahournat, Florence 講師）			
22	水際地盤学：河海の水災害メカニズム、水際域の土砂動態、河川・沿岸環境の保全技術、水理流体力学、先進実験水理学（山上路生教授）			
23	計算科学：地盤の変形・破壊のシミュレーション、土壌汚染・浄化のシミュレーション、地盤と構造物の相互作用、大規模・高速科学技術計算、AI・機械学習を用いた計測技術の開発、解析検証のための各種試験（菊本統教授）			

(2) 都市社会工学専攻

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2026年4月現在)	対応する教育プログラム		
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)	修士プログラム
26	構造物マネジメント工学：構造物の劣化メカニズム、状態診断と機能回復、高性能材料・低環境負荷材料の物性値及び部材の耐荷性能と耐久性能 ※今年度、本区分は募集無し	人間安全保障工学 分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
27	地震ライフライン工学：地震工学、防災工学、耐震工学(古川愛子教授)			
28	河川流域マネジメント工学：流域水動態の理解と予測、水災害リスク管理、土地利用と住まい方を含めた河川流域マネジメント(市川温教授)			
29	土木施工システム工学：地下空間の開発と利活用、不連続性岩盤の力学的・水理学的挙動、地盤材料の力学-水理-熱-化学連成問題、エネルギー生成後の副産物処理に関する先端的アプローチ、地盤と構造物の動的・静的相互作用(岸田潔教授・澤村康生准教授)			
30	ジオフロントシステム工学：岩盤を対象とした熱・水理・力学・化学連成現象のモデル化、バイオグラウト開発、斜面防災モニタリング・センシング、海底地すべり・津波励起メカニズム、海底地盤工学(安原英明教授・岩井裕正准教授)			
31	地球資源システム：深部掘削における原位置応力状態の解明とその計測技術、高温高压条件下における岩石の物理的性質の評価、石油・天然ガスの掘削坑壁安定性、地熱システムの数値モデリング、地表変動を用いた地下のモニタリング(林為人教授・石塚師也講師)			
32	計画マネジメント論：社会資本政策、民営化や公共調達制度などのインフラ産業論、リスク・ガバナンス、プロジェクト・マネジメント、災害レジリエンス政策、ソーシャル・キャピタル(大西正光教授・中尾聡史准教授)			
33	都市地域計画：都市計画学、都市政策論、公共交通政策論、都市交通計画(宇野伸宏教授・松中亮治准教授)			
34	都市基盤システム工学：国土計画、都市論、都市再生・保全、都市強靱化、地理空間情報やデジタル都市基盤の利活用、都市解析・調査分析論(大庭哲治教授)			
35	交通情報工学：交通・物流システムの最適化、ビッグデータを利用した交通マネジメント、交通ネットワーク信頼性解析、交通工学における実験的アプローチ(山田忠史教授・Qureshi, Ali Gul 准教授)			
36	交通行動システム：公共心理学研究、社会的ジレンマについての研究、公共政策のための計量経済学、実践的社会科学研究、公共交通とシェアードモビリティシステム、クラウドソースデータを用いた交通・観光需要モデリング(藤井聡教授・Schmöcker, Jan-Dirk 准教授・川端祐一郎准教授)			
37	地殻環境工学：リモートセンシングや数値地質学による鉱物・水・エネルギー資源の分布形態解析、地殻のガス・流体貯留機能評価の高精度化、浅部から深部に至る地殻環境の評価と時空間モデリングの技術(小池克明教授・柏谷公希准教授)			
38	耐震基礎：地震工学、地震動予測、耐震設計法、地盤-構造物の動的解析、土木構造物の地震応答性状、新耐震構造(後藤浩之教授)			
39	地域水環境システム：複合的環境動態モデル、総合流域管理、気候変動の洪水や渇水への影響評価(田中賢治教授・萬和明准教授)			
40	水文循環工学：水資源システムのマネジメント、地球水動態、水害対応行動のモデリング、水災害の防止と軽減(堀智晴教授)			

志望区分	研究内容 (担当教員) (2026年4月現在)	対応する教育プログラム		
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)	修士プログラム
41	災害リスクマネジメント：災害リスクの分析・評価方法、自然と産業の複合災害のマネジメント、住民参加型地域防災、災害リスクコミュニケーション (松田曜子准教授)	人間安全保障工学分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
42	自然・社会環境防災計画学：水資源のリスクマネジメント、流砂系総合土砂管理、生物多様性保全、流域生態系管理 (瀧健太郎教授・Kantoush, Sameh Ahmed 教授・小林草平准教授)			
43	都市耐水：都市複合災害、水・構造システムの動的連成応答、極端事象に対する構造物の設計法、動的応答の制御、都市施設の性能経年劣化評価と管理、都市水害、防災水理学、津波防災、地下空間の水防災 (五十嵐晃教授・米山望准教授)			
44	社会基盤親和技術論：地盤汚染と廃棄物の適正処理、環境リスク評価、都市セキュリティのための基盤創成技術、環境地盤工学 (勝見武教授・高井敦史准教授)	*	*	

・\*印の志望区分には、連携プログラム（融合工学コース・高度工学コース）の設定はない。

## II. 募集人員

社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）合計 115 名

（うち、学科外別途選考 I 型：上限 30 名、学科外別途選考 II 型・社会人別途選考：若干名）

・各志望区分の一般学力選考と学科外別途選考 I 型、学科外別途選考 II 型・社会人別途選考を合わせた上限定員は以下の通りである。

志望区分定員：7 名

・また、各志望区分には、一般学力選考と学科外別途選考 I 型、学科外別途選考 II 型・社会人別途選考のそれぞれに上限定員がある。

・さらに、志望区分 1～12・16～23・26～30・32～36・38～44 で構成されるグループと、13・14・15・31・37 で構成されるグループのそれぞれに上限定員がある。

## III. 出願資格

選考方法には(1)一般学力選考、(2)学科外別途選考 I 型、(3)学科外別途選考 II 型、(4)社会人別途選考および(5)外国人別途選考の 5 種類があり、出願時いずれかを選択しなければならない (VI. 出願要領を参照)。なお、学科外別途選考には I 型と II 型がある。一般学力選考、学科外別途選考 I 型、学科外別途選考 II 型および社会人別途選考の出願資格は以下の通りである。外国人別途選考の詳細は国際コースの募集要項 (英文) を参照すること。出願資格が不明の場合は、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛 (社会基盤・都市社会系 入試担当) に問い合わせること。出願資格を満たさない場合、出願資格に応じた選考方法に変更されることがある。

### (1) 一般学力選考

本募集要項の各専攻に共通の要項 (以下「募集要項」と略す) を参照。

### (2) 学科外別途選考 I 型

「募集要項」に定められた出願資格を持つ者で、京都大学工学部地球工学科 (土木工学科、交通土木工学科、衛生工学科ならびに資源工学科を含む) 以外の学科・学部・他大学を卒業、あるいは卒業見込みの者。

### (3) 学科外別途選考 II 型

「募集要項」に定められた出願資格を持つ者で、土木系・資源系以外の学科を卒業、あるいは卒

業見込みの者。

#### (4) 社会人別途選考

「募集要項」に定められた出願資格を持つ者で、文部科学省の定める4年制大学を卒業後、社会人としての実務経験を2年以上有する、あるいは有する見込みの者。

### IV. 学力検査日程

#### (1) 一般学力選考

桂キャンパス C クラスタ C1 棟 191・192・117 号室 他

月日	時 間 試験科目	時 間 試験科目
8月 4日 (火)	10:00～11:30 数学・物理 (力学)	13:00～15:00 専 門

#### (2) 学科外別途選考 I 型

桂キャンパス C クラスタ C1 棟 171 号室 他

月日	時 間 試験科目	時 間 試験科目
8月 4日 (火)	10:00～11:30 数学・物理 (力学)	13:00～14:20 専 門

#### (3) 学科外別途選考 II 型・社会人別途選考

桂キャンパス C クラスタ C1 棟 145 号室 他

月日	時 間 試験科目	時 間 試験科目
8月 4日 (火)	10:00～11:00 数学・物理 (力学) (選択者のみ)	13:00～14:00 専 門 (選択者のみ)
8月 5日 (水)	9:00～ 口頭試問	

### ○学力検査に関する注意事項

- ・ 試験開始時刻 15 分前までに試験室前に集合すること。口頭試問の場合は、受験者控え室に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・ 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴムに限る。

### V. 入学試験詳細

一般学力選考、学科外別途選考 I 型、学科外別途選考 II 型あるいは社会人別途選考の入学試験の詳細は、以下の通りである。

#### (1) 一般学力選考

- ①英語 (200 点/1000 点) : TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。

②数学・物理（力学）（200点/1000点）：以下の(1)と(2)を受験すること。

科目名	出題範囲
(1)数学	微積分学、線形代数、ベクトル解析、複素関数、フーリエ変換、ラプラス変換、微分方程式、確率・統計
(2)物理（力学）	運動の法則、慣性系、回転座標系、振動、ポテンシャル、剛体の力学、ラグランジュの運動方程式

※注 科目(1)と(2)は日本語および英語で出題される。

③専門（600点/1000点）：以下の(1)～(5)から 3科目 を選択すること。

ただし、13・14・15・31・37を第一志望区分とする場合には、3科目の1科目として、必ず(5)資源工学を選択しなければならない。

科目名	出題範囲
(1)構造力学	力のつりあい、断面力、影響線、応力とひずみ、材料の力学的性質、断面の性質、構造物の安定性および静定・不静定、静定構造、構造物の変形、柱の弾性座屈、不静定構造、弾性方程式法、仕事・エネルギーと仮想仕事、エネルギー原理
(2)水理学	流体運動の基礎、静水力学、完全流体の力学、水の波、粘性と乱れ、次元解析と相似律、管路の定常流、開水路の定常流
(3)土質力学	土の分類と物理的性質、土中の水理、圧密、土のせん断強さ、土の締固め、土圧、支持力、地盤内応力、斜面の安定、地盤改良、地盤の液化、地盤の振動特性
(4)計画理論	線形計画法、非線形計画法、動的計画法、ゲーム理論、ネットワーク手法、費用便益分析、重回帰モデル
(5)資源工学	岩石・岩盤の力学・水理、地質調査法と鉱床学、弾性波・電気・電磁探査の原理・データ解析と解釈

※注 科目(1)～(4)は日本語および英語で出題される。科目(5)は日本語で出題される。英語の問題冊子には科目(5)は含まれない。

## (2) 学科外別途選考 I 型

①英語（200点/1000点）：TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。

②数学・物理（力学）（300点/1000点）：出題範囲・言語は一般学力選考と同じである。

③専門（500点/1000点）：一般学力選考と同じ(1)～(5)から 2科目 を選択すること。出題範囲・言語は一般学力選考と同じである。

ただし、13・14・15・31・37を第一志望区分とする場合には、2科目の1科目として、必ず(5)資源工学を選択しなければならない。

## (3) 学科外別途選考 II 型・社会人別途選考

①英語（200点/1000点）：TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。

②学力試験（400点/1000点）：以下の(1)～(7)から 1科目 を選択すること。出題範囲・言語は一般学力選考と同じである。ただし、13・14・15・31・37を第一志望区分とする場合には、(3)～(6)を選ぶことはできない。

(1)数学、(2)物理（力学）、(3)構造力学、(4)水理学、(5)土質力学、(6)計画理論、(7)資源工学

出願時に、選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書（様式-M1）により、希望する科目を1つ選択すること。出願後、受験希望の科目を変更することはできない。

(1)数学、(2)物理（力学）のいずれかを選択する場合は、8月4日（火）10:00～11:00の「数学・物理（力学）（選択者のみ）」の時間に受験すること。(3)構造力学、(4)水理学、(5)土質力学、(6)計画理論、(7)資源工学のいずれかを選択する場合は、8月4日（火）13:00～14:00

の「専門（選択者のみ）」の時間に受験すること。

③口頭試問（400点/1000点）：専門学識、志望理由等に関する口頭試問。

口頭試問が受験可能な受験生は、英語および学力試験の成績を評価して選抜される。選抜された受験生と口頭試問の時刻は、8月5日（水）8:00までに社会基盤工学・都市社会工学専攻のウェブサイトに掲示する。選抜されなかった場合は成績の如何にかかわらず不合格となる。

(4) 有資格者及び合格者決定法

原則として、合計得点が500点（基準点）以上の者を有資格者とし、有資格者の中から合格者を決定する。ただし、問題の難易度に応じて有資格判定の基準点を調整することがある。

(5) 合格者の発表

「募集要項」の「VI. 合格者発表」を参照。

合格発表後、辞退等があれば有資格者の中から繰り上げ合格者を決定する。繰り上げ合格の期限は2026年9月末までとする。

VI. 出願要領

出願時に、(1)一般学力選考、(2)学科外別途選考Ⅰ型、(3)学科外別途選考Ⅱ型あるいは(4)社会人別途選考のいずれかの選考方法を選択して、「選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書」（様式-M1）によって届け出ること。(1)一般学力選考あるいは(2)学科外別途選考Ⅰ型のいずれかの選考方法を選択したものは、希望する問題冊子の言語についても選択すること。(3)学科外別途選考Ⅱ型あるいは(4)社会人別途選考のいずれかの選考方法を選択したものは、学力試験において希望する科目も選択すること。出願後、受験希望の科目を変更することはできない。外国人別途選考の詳細は国際コースの募集要項（英文）を参照すること。また下記の指示にしたがい「志望する指導教員調書」（様式-M3）に志望区分を記入すること。合格後の志望区分の変更は認めない。

(1) 一般学力選考

社会基盤・都市社会系に含まれる志望区分（1～23・26～44）の中から、第1志望から順に記入すること。志望区分は第10志望まで記入可能である。

それぞれの選考方法の上限定員のために、第2志望以降の志望区分での合格となることや、第2志望以降の志望順位を記入しないと有資格者であっても合格できない場合がある。

(2) 学科外別途選考Ⅰ型、学科外別途選考Ⅱ型・社会人別途選考

社会基盤・都市社会系に含まれる志望区分（1～23・26～44）の中から、第1志望の志望区分を記入すること。ただし、それぞれの選考方法の上限定員のために、有資格者であっても合格できない場合がある。

(3) 事前コンタクトについて

事前コンタクトにおいては、希望指導教員が志願者の希望する学習・研究内容と、希望指導教員の研究活動との整合性の有無を判断する。

○別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

一般学力選考、学科外別途選考Ⅰ型、学科外別途選考Ⅱ型あるいは社会人別途選考の別途提出書類は、以下の通りである。

### (1) 一般学力選考

工学研究科に提出する出願書類の他に、下記の書類を「入試別途書類（修士・一般）」と朱書した封筒で、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に提出または郵送（書留便）しなければならない。

①選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書（様式－M1）

②入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M2）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

③志望する指導教員調書（様式－M3）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

④TOEIC または IELTS の成績証明書

※TOEFL の場合、紙媒体の提出は不要。「英語の成績証明書・学力評価について」参照。

### (2) 学科外別途選考 I 型

工学研究科に提出する出願書類の他に、下記の書類を「入試別途書類（修士・学科外別途選考 I 型）」と朱書した封筒で、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に提出または郵送（書留便）しなければならない。

①選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書（様式－M1）

②入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M2）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

③志望する指導教員調書（様式－M3）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

④TOEIC または IELTS の成績証明書

※TOEFL の場合、紙媒体の提出は不要。「英語の成績証明書・学力評価について」参照。

### (3) 学科外別途選考 II 型

工学研究科に提出する出願書類の他に、下記の書類を「入試別途書類（修士・学科外別途選考 II 型）」と朱書した封筒で、下記の提出先宛に提出または郵送（書留便）しなければならない。

①選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書（様式－M1）

②入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M2）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

③志望する指導教員調書（様式－M3）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

④TOEIC または IELTS の成績証明書

※TOEFL の場合、紙媒体の提出は不要。「英語の成績証明書・学力評価について」参照。

⑤志望区分の選択理由およびこれまでの研究経緯：(i)志望区分（志望研究室）を選択した理由（動機）を 500 字程度、(ii)これまでの研究経緯（卒業論文の内容の概略、あるいは、得意とする学習科目や興味を抱いている自然現象、社会問題など）を 1500 字程度で記載した文書（5 部）。書式は随意。A4 紙（2～3 枚：1 枚目に氏名を記載）にワードプロセッサで明瞭に記載すること。(ii)については概念図を用いるなど分かり易い表現に配慮すること。

### (4) 社会人別途選考

工学研究科に提出する出願書類の他に、下記の書類を「入試別途書類（修士・社会人別途選考）」と朱書した封筒で、下記の提出先宛に提出または郵送（書留便）しなければならない。

①選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書（様式－M1）

②入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M2）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

③志望する指導教員調書（様式－M3）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

④TOEIC または IELTS の成績証明書

※TOEFL の場合、紙媒体の提出は不要。「英語の成績証明書・学力評価について」参照。

⑤志望区分の選択理由およびこれまでの研究経緯：(i)志望区分（志望研究室）を選択した理由（動機）を 500 字程度、(ii)これまでの研究経緯（卒業論文の内容の概略、あるいは、得意とする学習科目や興味を抱いている自然現象、社会問題など）を 1500 字程度で記載した文書（5 部）。書式は随意。A4 紙（2～3 枚：1 枚目に氏名を記載）にワードプロセッサで明瞭に記載すること。(ii)については概念図を用いるなど分かり易い表現に配慮すること。

⑥所属長（代表者）等の承諾書（様式－M4）

出願時において、官公庁、企業、教育機関等に勤務しており、在職したまま入学及び在学することについて、所属長（代表者）から承諾を得ること。

別途提出書類を下記窓口へ提出または郵送（書留便）すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

- ・書類提出期限：2026 年 6 月 10 日（水）午後 5 時（必着）

※何らかの理由で、TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書を上記期限までに提出できない者は、2026 年 7 月 17 日（金）午後 4 時必着で、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に提出または郵送（書留便）しなければならない。

- ・提出先：〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

（社会基盤・都市社会系 入試担当） TEL：075-383-3521

## ○英語の成績証明書・学力評価について

- ・ TOEIC、IELTS、TOEFL の成績により英語の学力を評価する（ただし、2024 年 8 月 1 日以降に実施された試験に限る）。下記の指定されたいずれかの提出物を、期日までに提出または郵送（書留便）すること。2026 年 7 月 17 日（金）午後 4 時以後は受け付けないので注意されたい。

### < TOEIC >

- ・公式認定証（Official Score Certificate）の原本のほかにデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものも認める。ただし、いずれの場合も紙媒体として提出すること。TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

### < IELTS >

- ・追加成績証明書（紙媒体）が期日までに社会基盤・都市社会系 入試担当に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。IELTS（Academic Module）のみ受け付ける。Paper-based IELTS と Computer-delivered IELTS のいずれも認めるが、IELTS Online のスコアは認められないので留意すること。

### < TOEFL >

- ・Institutional Score Report が期日までに社会基盤・都市社会系に届くように、TOEFL 実施機関（米国 Educational Testing Service）に送付依頼の手続きをとること。送付依頼手続きに必要な、社会基盤・都市社会系の Institution Code（DI コード）は「C092」である。また、Institutional Score Report の社会基盤・都市社会系への到着に関する問い合わせには回答しない。

- ・ TOEFL-iBT (internet-Based Test) のみ受け付ける。TOEFL iBT Paper Edition および TOEFL iBT Home Edition のスコアは認められないので留意すること。また、TOEFL-iBT テストの MyBest スコアも認めない。TOEFL-ITP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。
- ・ 後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。
- ・ 成績証明書の返却希望の有無を「選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書」(様式-M1) の所定の欄に記入すること。

## Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には3種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは以下の通りである。

- 博士課程前後期連携教育プログラム (融合工学コース)
- 博士課程前後期連携教育プログラム (高度工学コース)
- 修士課程教育プログラム

いずれの教育プログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。志望の調査は、出願時に「入学後の教育プログラム履修志望調書」(様式-M2) により実施する。

## Ⅷ. 教育プログラムの内容について

### 【融合工学コース】

「募集要項」の「X. 修士課程入学後の教育プログラムについて」を参照すること。

### 【高度工学コース】【修士課程教育プログラム】

#### ○社会基盤工学専攻

新たな産業と文明を開き、環境と調和して、安心・安全で活力ある持続可能な社会を創造するためには、人類が活動する領域とそこにある社会基盤構築物を対象とした技術革新が欠かせません。社会基盤工学専攻では、最先端技術の開発、安全・安心で環境と調和した潤いのある社会基盤整備の実現、地下資源の持続的な利用に重点を置き、社会基盤整備を支援する科学技術の発展に貢献します。

そのために、地球規模の環境問題とエネルギー問題を深く理解し、国際的かつ多角的な視野から新たな技術を開拓する工学基礎力、さらに実社会の問題を解決する応用力を有する人材を育成します。すなわち、1) 工学基礎に基づく最先端科学技術の高度化、2) 自然災害のメカニズム解明と減災技術の高度化、3) 社会インフラの統合的計画・設計技術とマネジメント技術の高度化、4) 発展的持続性社会における地下資源エネルギーの利用、5) 低炭素社会実現に向けた諸問題解決に対し、高い工学基礎力を有する高度技術者を育成します。

高度工学コースでは、さらに博士後期課程での高度かつ先端的な基盤研究、実社会の諸課題に即応する応用技術研究を通して、深い工学基礎力を有する国際的な研究者・技術者を育成します。

#### ○都市社会工学専攻

高度な生活の質を保証し、持続可能で国際競争力のある都市システムを実現するためには、都市システムの総合的なマネジメントが欠かせません。都市社会工学専攻では、地球・地域の環境保全を制約条件として、マネジメント技術、高度情報技術、社会基盤技術、エネルギー基盤技術などの工学技術を統合しながら、社会科学、人文科学の分野を包含する学際的な視点から、都市システムの総合的マネジメントの方法論と技術体系の構築を目指します。

そのために、社会科学、人文科学の分野を含む総合的かつ高度な素養を身につけた、高い問題解決能力を有する人材を育成します。すなわち、1) 都市情報通信技術の革新による社会基盤の

高度化、2) 高度情報社会における災害リスクのマネジメント、3) 都市基盤の効率的で総合的なマネジメント、4) 国際化時代に対応した社会基盤整備、5) 有限エネルギー資源論に立脚した都市マネジメントに対し、高い問題解決能力を有する国際的な高度技術者を育成します。

高度工学コースでは、さらに博士後期課程での実践的かつ学際的な研究を通して、都市システムの総合的マネジメント能力を身につけた、国際的リーダーとなる研究者・技術者を育成します。

## Ⅸ. その他

### ○入学試験説明会

入学試験に関する説明会の開催を予定している。

日時・場所等の詳細は、社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻ウェブサイトに掲載する。

ウェブサイト：

- ・社会基盤工学専攻：<https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/>
- ・都市社会工学専攻：<https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/>

### ○社会情勢の変化への対応について

社会情勢の変化に関連して、募集要項公表後に入試に関する変更が生じる可能性がある。変更する場合には専攻のウェブサイトに掲載するので、定期的に最新の情報を確認すること。

### ○問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

(社会基盤・都市社会系 入試担当) TEL：075-383-3521

※The Japanese language version of the information provided here is to be given precedence.

## Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management (Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management)

Entrance examinations for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and Department of Urban Management will be jointly conducted, and applicants can select the preferred department and professors from either department.

### I. Study Areas

Applicants can refer to the list of study areas below. Prior to submitting application documents, applicants must contact the preferred supervisor to discuss the selection method and research plan. Inquiries regarding the contact information for faculty members should be addressed to C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management) .

#### (1) Department of Civil and Earth Resources Engineering

Area No.	Research Topic (Faculty in Charge) (as of April 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Courses)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Courses)	Master's Course Program
1	Applied Mechanics: Particle-based computational fluid dynamics, fluid-structure interaction, turbulence modeling, mechanical stabilization of undersea tunnels, development and application of the rigid plastic finite element method (Assoc. Prof. Abbas Khayyer, Assoc. Prof. Jun Saito)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic)
2	Structural Materials Engineering: Properties of structural materials including concrete, durability, maintenance, scenario design of civil infrastructures including concrete structures (Prof. Takashi Yamamoto, Assoc. Prof. Satoshi Takaya)			
3	Structural Mechanics: Structural behavior of steel/composite structures and their rational design, nondestructive evaluation of residual performance of structures, maintenance and durability improvement of steel structures (Prof. Yasuo Kitane)	Applied Mechanics, Human Security Engineering		
4	Bridge Engineering: Bridge aerodynamics, wind-induced instabilities, flow-induced vibrations, aerodynamic countermeasures, wind resistant design, snow accretion, snow resistant design, transportation and adhesion of airborne salt particles, wind-induced disasters (Prof. Tomomi Yagi, Assoc. Prof. Hisato Matsumiya)			
5	Structural Dynamics: Dynamic response of structures and their control, base isolation, seismic resistant design, structural design, metabolism of structure (Prof. Yoshikazu Takahashi)			
6	Environmental Hydrodynamics: Sediment transport, multiphase flow dynamics, crowd dynamics, fundamental theory of open channel flows, river bed deformation and river channel processes, hydraulics on dike breaching (Prof. Eiji Harada, Assoc. Prof. Shinichiro Onda)	Human Security Engineering		
7	Hydrology and Water Resources Research: The hydrologic cycle, hydrologic prediction, real-time hydrologic forecasting, hydrologic design, water resources management (Prof. Yasuto Tachikawa, Assoc. Prof. Sunmin Kim)			
8	Geomechanics: Investigation of static and dynamic behaviors of geomaterials, computational geomechanics, soil-fluid interaction, soil-construction machinery interaction, stability evaluation of rock slopes, conservation of historic earth structures (Prof. Yosuke Higo, Assoc. Prof. Ryota Hashimoto, Assoc. Prof. Fan Zhu)			
9	Infrastructure Innovation Engineering: Structural dynamics on vehicle-bridge interaction, environmental vibrations caused by bridge vibrations, bridge health monitoring, drive-by bridge inspection, smart sensing system, seismic performance of viaduct under traffic (Prof. Chul-Woo Kim, Assoc. Prof. Kai-Chun Chang)			
10	Geoinformatics: Remote sensing, geographic information systems, digital photogrammetry, generation of 3D data in urban areas and spatial-temporal analysis (Prof. Junichi Susaki)			
11	Urban and Landscape Design: Landscape design, urban design, architecture of infrastructure and environment, cultural climate and environment, regional planning, urban history (Prof. Masashi Kawasaki, Assoc. Prof. Keita Yamaguchi)			

Area No.	Research Topic (Faculty in Charge) (as of April 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Courses)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Courses)	Master's Course Program
12	Urban Coast Design: Design and planning of urban coastal structures, particle method, computational wave dynamics, computational fluid dynamics, computational mechanics of sediment transport, computational mechanics for multiphase flow, crowd and multi-agent simulation in urban areas (Prof. Hitoshi Gotoh, Assoc. Prof. Hiroyuki Ikari)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic)
13	Geophysics: Geophysical exploration of shallow to deep crustal structures, geophysical modeling of geological phenomena that influence human activities, visualization of subsurface geophysical properties (Prof. Eiichi Fukuyama, Assoc. Prof. Junichi Takekawa)			
14	Earth Crust Engineering: Mechanical property and fluid flow in rock to contribute to various rock engineering projects such as carbon capture & storage (CCS), radioactive waste disposal, and development of energy and mineral resources (Assoc. Prof. Yoshitaka Nara, Assoc. Prof. Naotoshi Yasuda)			
15	Fluid Resources and Energy Science: Environmentally friendly development technologies for energy resources such as oil, natural gas, natural hydrogen, and geothermal energy, as well as mineral resources. Technologies contributing to carbon neutrality, such as CCS, CCUS, and underground hydrogen storage (Prof. Sumihiko Murata)			
16	Sediment Control Engineering: Controlling sediment in mountain-river-coast systems, prediction and monitoring of sediment dynamic states in mountainous areas, developing methods to decrease damage from sedimentation disasters, evaluating the impact of sediment transport on the ecosystem (Prof. Kana Nakatani, Assoc. Prof. Kazuki Yamanoi, Assoc. Prof. Shoki Takayama)			
17	Hydroscience and Hydraulic Engineering: Three dimensional structure of flood flow and bed form, prediction of sediment yield and its influence on flood, observations and experiments on sediment transport phenomena, mechanism of river dyke breach, simulation of urban inundation and stormwater drainage, interdisciplinary hydraulics-ecology and hydrodynamics (Prof. Kenji Kawaike)			
18	Geotechnics for Hazard Mitigation: Damage estimation of geotechnical structures after large earthquakes, combined geo-disaster induced by rainfall and earthquake, behavior of geotechnical structures made of composite materials (Prof. Ryosuke Uzuoka, Assoc. Prof. Kyohei Ueda)			
19	Hydrometeorological Disasters Engineering: Global climate change impact assessment on precipitation field, precipitation forecasting, radar hydrology, remote sensing by spaceborne precipitation radar, analysis and forecast of water and heat circulation in urban area, formation process of river basin (Prof. Kosei Yamaguchi)			
20	Coastal Disaster Engineering: Modeling, hazard and risk assessment, and observation of extreme storm surges, storm waves and tsunamis, Climate change impacts and adaptation on coastal hazards, Interaction between atmospheric, ocean and waves (Prof. Nobuhito Mori, Assoc. Prof. Yasuyuki Baba, Assoc. Prof. Tomoya Shimura)			
21	Innovative Disaster Prevention Technology and Policy Research: Realtime Flood Prediction, Impact assessment of climate and land use changes on hydrologic cycle, rainfall-runoff and flood inundation analysis, development of strategic approaches to prevent water-related disasters (Prof. Takahiro Sayama, Assoc. Prof. Tomohiro Tanaka, Jr. Assoc. Prof. Lahournat, Florence)			
22	Waterfront and Marine Geohazards: Hydro-hazards, sediment transport in waterfront, coastal and riverine environmental protection, hydraulics and fluid mechanics, advanced experimental hydraulics (Prof. Michio Sanjou)			
23	Computational science: Simulation of ground deformation and failure, simulation of soil contamination and remediation, soil-structure interaction analysis, large-scale and high-speed scientific computing, development of measurement technologies utilizing AI and machine learning, and various experiments for analysis validation (Prof. Mamoru Kikumoto)			

(2) Department of Urban Management

Area No.	Research Topic (Faculty in Charge) (as of April 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Courses)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Courses)	Master's Course Program
26	Structures Management Engineering: Deterioration mechanism of structures, condition diagnosis and functional recovery, mechanical properties of high-performance steels and environment-friendly concrete <u>*No admissions for this category, this year</u>	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic)
27	Earthquake and Lifeline Engineering: Earthquake engineering, disaster prevention engineering, seismic risk management (Prof. Aiko Furukawa)			
28	River System Engineering and Management: Understanding and forecasting of catchment water dynamics, flood risk control, watershed land use management (Prof. Yutaka Ichikawa)			
29	Construction Engineering Systems: Development and public use of tunnel and underground space, mechanical and hydromechanical of fractured rock, mechanical-hydromechanical-thermal-chemical coupling process and its modeling on rocks and soils, advanced approach of the geo-sequestration of energy byproducts, dynamic/static soil-structure interaction (Prof. Kiyoshi Kishida, Assoc. Prof. Yasuo Sawamura)			
30	Geofront-System Engineering: Modeling of coupled thermal-hydraulic-mechanical-chemical-chemical phenomena for rocks, development of biogROUT, monitoring and sensing of slope disaster prevention, tsunami generation mechanism caused by submarine landslide, offshore geotechnical engineering (Prof. Hideaki Yasuhara, Assoc. Prof. Hiromasa Iwai)			
31	Earth and Resource System: Determination of in situ stress in ocean and continental deep drillings, measurements of rock physical properties under high pressure and high temperature conditions, wellbore stability for oil and gas developments, mathematical modeling of a geothermal system, visualization of subsurface phenomenon by InSAR (Prof. Weiren Lin, Jr. Assoc. Prof. Kazuya Ishitsuka)			
32	Infrastructure Planning and Management Theory: Planning and management systems: Infrastructure policy, infrastructure industry including privatization and public procurement systems, risk governance, project management, disaster resilience policy, social capital (Prof. Masamitsu Onishi, Assoc. Prof. Satoshi Nakao)			
33	Urban and Regional Planning: Urban planning, urban policy, public transportation policy, urban transportation planning (Prof. Nobuhiro Uno, Assoc.Prof. Ryoji Matsunaka)			
34	Urban Management Systems: National land planning and infrastructure management, urban studies, urban regeneration and conservation, urban resilience, utilization of geospatial information and digital urban infrastructure, urban analysis and survey research (Prof. Tetsuharu Oba)			
35	Intelligent Transport Systems: Optimization of transport and logistics systems, traffic and transport management using big data and integrated transport, reliability analysis of transport network, experimental approach to traffic engineering (Prof. Tadashi Yamada, Assoc. Prof. Ali Gul Qureshi)			
36	Travel Behavior Analysis: Public psychology, social dilemmas, econometrics for public policy, practical social science research, public transport and shared mobility systems, transportation and tourism demand modelling with crowdsourced data (Prof. Satoshi Fujii, Assoc. Prof. Jan-Dirk Schmöcker, Assoc. Prof. Yuichiro Kawabata)			
37	Environmental Geosphere Engineering: Distribution analyses of mineral, water, and energy resources using remote sensing and mathematical geology; reservoir evaluation for storage properties of crustal gases and fluids; and assessment and spatio-temporal modeling of crustal environments from shallow to deep depths (Prof. Katsuaki Koike, Assoc. Prof. Koki Kashiwaya)			
38	Dynamics of Foundation Structures: Earthquake engineering, engineering seismology, seismic design, soil-structure interaction, seismic performance of structures, innovative structure to resist seismic vibrations (Prof. Hiroyuki Goto)			
39	Regional Water Environment System: Comprehensive environmental dynamics model, integrated water resources management, assessing the impact of climate change on flood and drought (Prof. Kenji Tanaka, Assoc. Prof. Kazuaki Yorozu)			
40	Water Resources Engineering: Water resources systems management, global water dynamics, modeling of human response to water hazards, prevention and mitigation of water-related disasters (Prof. Tomoharu Hori)			

Area No.	Research Topic (Faculty in Charge) (as of April 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Courses)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Courses)	Master's Course Program
41	Disaster Risk Management: Methodology of disaster risk analysis and assessment, community-based and participatory disaster management, and disaster risk communication (Assoc. Prof. Yoko Matsuda)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic)
42	Environmental Disaster Mitigation Management: Risk management of water resources, integrated management of sediment routing systems, biodiversity conservation, ecosystem management in river basins (Prof. Kentaro Taki, Prof. Sameh Ahmed Kantoush, Assoc. Prof. Sohei Kobayashi)			
43	Urban Flood Control: Compound urban disasters, dynamics of fluid-structure coupled systems, structural design for extreme events, dynamic response control, assessment and maintenance of deteriorating urban facilities, urban flood disaster, hydraulics of water-related disasters, water disaster prevention for underground space, tsunami disaster prevention (Prof. Akira Igarashi, Assoc. Prof. Nozomu Yoneyama)			
44	Sustainable Geoenvironmental Engineering: Environmental infrastructure engineering, soil and groundwater contamination, geotechnics for waste management, environmental risk assessment, environmental geotechnics (Prof. Takeshi Katsumi, Assoc. Prof. Atsushi Takai)	*	*	

- A Study Area with the \* mark (No. 44) does not have an Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course and Advanced Engineering Course).

## II. Number of students to be accepted

Department of Civil and Earth Resources Engineering/Department of Urban Management: Total of 115 persons

(Upper limit capacity for special selection of non-civil, environmental and resources engineering (non-global engineering)\* students Type I: 30 persons, special selection of non-civil, environmental and resources engineering students Type II and special selection of career-track working students: a few persons)

- The combined enrollment capacities of General Academic Selection, Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, Type II and Special Selection of Career-Track Working Students for each study area are as follows:  
Enrollment capacity of each study areas: 7 persons
- In addition to the above combined enrollment capacities of General Academic Selection, Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, Type II and Special Selection of Career-Track Working Students, each selection method has an upper limit capacity, respectively.
- Study areas are categorized into two groups. One group is made up of No. 1- 12, No. 16- 23, No. 26- 30, No. 32- 36 and No. 38- 44. The other group is made up of No. 13, 14, 15, 31 and 37. These two groups have upper limit capacities.

\* Undergraduate school of Global Engineering was renamed to Undergraduate school of Civil, Environmental and Resources engineering from April 1, 2022.

## III. Eligibility and its screening

Applicants must choose a selection method from the following five options: (1) General Academic Selection, (2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, (3) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II, (4) Special Selection of Career-Track Working Students, and (5) Special Selection of International Students. (refer to “VI. Application Procedures”). Eligibility requirements for applicants of General Academic Selection, Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, Type II and Special Selection of Career-Track Working Students are as below. With regard to Special Selection of International Students, please refer to another guideline “Guidelines for International Applicants to the 2026 Master’s Program” (in English) for details. If you are uncertain about the eligibility, please contact C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management). If the applicant does not meet the eligibility requirements, the

selection method may be changed according to the eligibility requirements.

(1) General Academic Selection:

Refer to common section for all departments included in this guideline “Guidelines for Applicants to the 2026 Master’s Program” (“this guideline” hereinafter).

(2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I:

Those who meet eligibility requirements for applicants specified in this guideline and have graduated or are expected to graduate from faculties, schools, or universities other than Undergraduate School of Civil, Environmental and Resources Engineering, Faculty of Engineering, Kyoto University (including the former undergraduate schools of Civil Engineering, Transportation Engineering, Environmental and Sanitary Engineering and Mineral Science and Technology).

(3) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II:

Those who meet eligibility requirements for applicants specified in this guideline and have graduated or are expected to graduate from faculties or schools other than civil engineering and resource engineering.

(4) Special Selection of Career-Track Working Students:

Those who meet eligibility requirements for applicants specified in this guideline, have graduated from a four-year university specified by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and have or are expected to have two or more years of work experience.

#### IV. Examination Schedule

(1) General Academic Selection:

Room 191, 192, 117, etc., C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus

Date	Time and Examination Subjects	
Tuesday, August 4	10:00– 11:30 Mathematics and Physics (Mechanics)	13:00–15:00 Specialized Engineering Knowledge

(2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I:

Room 171, etc., C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus

Date	Time and Examination Subjects	
Tuesday, August 4	10:00– 11:30 Mathematics and Physics (Mechanics)	13:00–14:20 Specialized Engineering Knowledge

(3) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II/Special Selection of Career-Track Working Students:

Room 145, etc., C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus

Date	Time and Examination Subjects	
Tuesday, August 4	10:00–11:00 Mathematics and Physics (Mechanics) (only those selected)	13:00–14:00 Specialized Engineering Knowledge (only those selected)
Wednesday, August 5	9:00~ Oral Examination	

○ Examination Instructions

- Be sure to come to the examination room no later than 15 minutes before the examination starts. For oral examinations, gather in the waiting room for applicants.
- Be sure to bring your examination voucher with you and follow the instructions of the proctor and other staff.
- Refrain from taking your mobile phone or other electronic devices into the room. If you take those electronic devices into the room, turn off the power, keep the devices in your bag and put your bag in the designated place. If you carry those electronic devices with you, you could be deemed to conduct fraudulent act.
- Be sure to turn off the alarm functions of watches.
- Writing tools for examinations are limited to pencils, fountain pens, ball-point pens, mechanical pencils, pencil sharpeners, and erasers.

## V. Details of Entrance Examinations

Details about the entrance examinations for General Academic Selection, Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, Type II and Special Selection of Career-Track Working Students are given below.

(1) General Academic Selection:

- (i) English (score 200/1000): To be evaluated on the basis of candidate's TOEFL, TOEIC, or IELTS scores.
- (ii) Mathematics and Physics (Mechanics) (score 200/1000): Take examinations (1) and (2) below.

Subject	Range of Questions
(1) Mathematics	Calculus, Linear algebra, Vector analysis, Complex functions, Fourier transform, Laplace transform, Differential equations, Probability and statistics
(2) Physics (Mechanics)	Laws of motion, Inertial systems, Rotational coordinate systems, Oscillation, Potential, Rigid-body mechanics, Lagrange equation of motion

\*Note: Subjects (1) and (2) will be written in Japanese and English.

(iii) Specialized Engineering Knowledge (score 600/1000): Select three subjects from among (1)–(5) below.

However, when selecting study areas 13, 14, 15, 31, or 37 as first choices, applicants must select (5) Earth Resources Engineering as one of the three subjects.

Subject	Range of Questions
(1) Structural Mechanics	Force equilibrium, Sectional forces, Influence lines, Stress and strain, Mechanical properties of materials, Sectional properties, Stability of structures and static determinate/indeterminate, Statically determinate structures, Deformation of structures, Elastic buckling of columns, Statically indeterminate structures, Equations of elasticity, Work and energy, Virtual work, Energy principle
(2) Hydraulics	Fundamentals of fluid motion, Hydrostatics, Dynamics of perfect fluids, Water waves, Viscous flows and turbulence, Dimensional analysis and similarity law, Steady pipe flows, Steady open-channel flows
(3) Soil Mechanics	Physical properties and classification of soils, Permeability and seepage, Consolidation, Shear strength, Compaction, Earth pressure, Bearing capacity, Stress distribution, Slope stability, Ground improvement, Liquefaction, Seismic behavior
(4) Systems Analysis for Planning and Management	Linear programming, Nonlinear programming, Dynamic programming, Game theory, Network analysis, Cost-benefit analysis, Regression analysis
(5) Earth Resources Engineering	Mechanics and hydraulics in rock; Geological survey methods and resource geology; Principles, data processing/interpretation in geophysical exploration using seismic, electrical, and electromagnetic methods

\*Note: Questions for subjects (1)–(4) are given in English as well as Japanese. Questions for subject (5) are given only in Japanese. The English question sheet does not contain subject (5).

(2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I

- (i) English (score 200/1000):  
To be evaluated on the basis of candidate's TOEFL, TOEIC, or IELTS scores.
- (ii) Mathematics and Physics (Mechanics) (score 300/1000): The range and language of questions are the same as General Academic Selection.
- (iii) Specialized Engineering Knowledge (score 500/1000): Select two subjects from among (1)–(5) which are the same as General Academic Selection. The range and language of questions are the same as General Academic Selection.  
However, when selecting study areas 13, 14, 15, 31, or 37 as first choices, applicants must select (5) Earth Resources Engineering as one of the two subjects.

(3) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II/Special Selection of Career-Track Working Students

- (i) English (score 200/1000):  
To be evaluated on the basis of candidate's TOEFL, TOEIC, or IELTS scores.

(ii) Subject test (score 400/1000):

Select one subject from among (1)–(7) below. The range and language of questions are the same as General Academic Selection. However, when selecting study areas 13, 14, 15, 31, or 37 as first choices, applicants cannot select (3)–(6).

(1) Mathematics, (2) Physics (Mechanics), (3) Structural Mechanics, (4) Hydraulics, (5) Soil Mechanics, (6) Systems Analysis for Planning and Management, and (7) Earth Resources Engineering

Select one subject of your choice using the “Application Form for Selection Method and Submission of English Official Score Report” (Form M1) during applications.

If selecting either (1) Mathematics or (2) Physics (Mechanics), take examinations during the time for “Mathematics and Physics (Mechanics) (only those selected)” at 10:00–11:00. on Tuesday, August 4. If selecting any of (3) Structural Mechanics, (4) Hydraulics, (5) Soil Mechanics, (6) Systems Analysis for Planning and Management, or (7) Earth Resources Engineering, take examinations during the time for “Specialized Engineering Knowledge (only those selected)” at 13:00–14:00. on Tuesday, August 4.

(iii) Oral examinations (score 400/1000):

Oral examinations regarding specialized engineering knowledge and motivation for application.

Applicants for oral examinations will be chosen by evaluation of English and subject test results. Selected applicants and time for oral examinations will be shown on webpage of Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management by 8:00 on Wednesday, August 5. Those not selected will not pass regardless of examination results.

(4) Examination Criteria

Applicants who have secured 500 (reference point) or more points are eligible for selection. Final successful applicants are selected among the eligible applicants. The reference point might be adjusted according to the difficulty of the questions.

(5) Announcement of Successful Applicants

Refer to “VI. Announcement of Entrance Examination Results” in this guideline.

When there are declensions after the announcement of successful applicants, the next qualifier in a waiting list among the eligible applicants becomes an additional successful applicant. The deadline of this process is the end of September 2026

## VI. Application Procedures

Applicants must select any one of the selection methods from (1) General Academic Selection, (2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, (3) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II, or (4) Special Selection of Career-Track Working Students and notify it using the “Application Form for Selection Method and Submission of English Official Score Report” (Form M1). Applicants who select (1) General Academic Selection or (2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I must also select the language for the subject test. Those who select either (3) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II or (4) Special Selection of Career-Track Working Students must select preferred subjects for subject test. With regard to Special Selection of International Students, please refer to “Guidelines for International Applicants for to the 2026 Master’s Program” (in English) for details. Follow the instructions below and fill in the number of the study area you wish to study on “Preferred Study Area and Supervisor” (Form M3). Any change in study area after the announcement of successful applicants is not accepted.

(1) General Academic Selection

Applicants must choose study areas from No. 1-23, No. 26-44 and fill in the number of choices in the order of preference. Applicants can fill in the numbers from 1st up to 10th choices.

Because of these upper limit capacities, there is a possibility for some successful applicants to be assigned to a study area other than their first choice. If applicants fail to fill in the numbers for their second to tenth study area choices, they could fail their exam even though they are eligible.

- (2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, Type II/Special Selection of Career-Track Working Students

Applicants must choose study areas from No. 1-23, No. 26-44 and fill in the number of choices in the order of preference. However, due to the upper limit capacity, applicants could fail their exam even though they are eligible.

- (3) Prior Contact

In the prior contact, the preferred supervisor will judge whether or not the learning / research content desired by the applicant is consistent with the research activities of the preferred supervisor.

- Additional Required Documents (Download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.)

Additional required documents for General Academic Selection, Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I, Type II and Special Selection of Career-Track Working Students are as below.

- (1) General Academic Selection

In addition to application documents to submit to the Graduate School of Engineering, documents (i)-(iv) below must be submitted to the office address given below. Mark “Additional Required Documents for General Academic Selection” in the red ink on the envelope. These documents must be submitted in person or sent by registered mail “kakitome-bin (書留便)”.

- (i) Application Form for Selection Method and Submission of English Official Score Report (Form M1)

- (ii) Selection of Course Program (Form M2)

\* The form must be signed by the supervisor.

- (iii) Preferred Study Area and Supervisor (Form M3)

\* The form must be signed by the supervisor.

- (iv) Official Score Certificate of either TOEIC or IELTS (below).

\* In the case of TOEFL, submission of a paper version of score certificate is not needed. See “Assessment of English Ability”.

- (2) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I

In addition to application documents to be submitted to the Graduate School of Engineering, documents (i)-(iv) below must be submitted to the office address given below. Mark “Additional Required Documents for Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type I” in the red ink on the envelope. These documents must be submitted in person or sent by registered mail “kakitome-bin (書留便)”.

- (i) Application Form for Selection Method and Submission of English Official Score Report (Form M1)

- (ii) Selection of Course Program (Form M2)

\* The form must be signed by the supervisor.

- (iii) Preferred Study Area and Supervisor (Form M3)

\* The form must be signed by the supervisor.

- (iv) Official Score Certificate of either TOEIC or IELTS

\* In the case of TOEFL, submission of a paper version of score certificate is not needed. See “Assessment of English Ability”.

- (3) Special Selection of Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II

In addition to application documents to be submitted to the Graduate School of Engineering, documents (i)-(v) below must be submitted to the office address given below. Mark “Additional Required Documents for Non-Civil, Environmental and Resources Engineering Students Type II” in the red ink on the envelope. These documents must be submitted in person or sent by registered mail “kakitome-bin (書留便)”.

- (i) Application Form for Selection Method and Submission of English Official Score Report (Form M1)

- (ii) Selection of Course Program (Form M2)

\* The form must be signed by the supervisor.

- (iii) Preferred Study Area and Supervisor (Form M3)
  - \* The form must be signed by the supervisor.
- (iv) Official Score Certificate of either TOEIC or IELTS
  - \* In the case of TOEFL, submission of a paper version of score certificate is not needed. See “Assessment of English Ability”.
- (v) Motivation for Selecting Study Area and Past History of Research: (1) documents describing the motivation for selecting a preferred study area in approximately 500 letters and (2) past history of research (overview of graduation thesis or otherwise, expert subject or natural phenomena, and social issues that you are interested in) in approximately 1500 letters (5 copies). Type clearly using word processors on free-format A4-sized paper (2~3 papers: note your name on the first page). For (2), use easy-to-understand expressions, for example, using conceptual diagrams.

(4) Special Selection of Career-Track Working Students

In addition to application documents to be submitted to the Graduate School of Engineering, documents (i)-(vi) below must be submitted to the office address given below. Mark “Additional Required Documents for Special Selection of Career-Track Working Students” in the red ink on the envelope. These documents must be submitted in person or sent by registered mail “kakitome-bin (書留便)”.

- (i) Application Form for Selection Method and Submission of English Official Score Report (Form M1)
- (ii) Selection of Course Program (Form M2)
  - \* The form must be signed by the supervisor.
- (iii) Preferred Study Area and Supervisor (Form M3)
  - \* The form must be signed by the supervisor.
- (iv) Official Score Certificate of either TOEIC or IELTS
  - \* In the case of TOEFL, submission of a paper version of score certificate is not needed. See “Assessment of English Ability”.
- (v) Motivation for Selecting Study Area and Past History of Research: (1) documents describing the motivation for selecting a preferred study area in approximately 500 letters and (2) past history of research (overview of graduation thesis or otherwise, expert subject or natural phenomena, and social issues that you are interested in) in approximately 1500 letters (5 copies). Type clearly using word processors on free-format A4-sized paper (2~3 papers: note your name on the first page). For (2), use easy-to-understand expressions, for example, using conceptual diagrams.
- (vi) Letter of acceptance written by a superior in a supervisory or advisory position (Form M4)
 

A special selection procedure is available for applicants who are employed by a government agency or a company at the time of application, intend to continue the employment after accepted to the Graduate School of Engineering and have been accepted by their superior in principle.

The above-mentioned documents must be submitted in person or sent by registered mail “kakitome-bin (書留便)”. Please be aware that some documents require time for preparation. Therefore, it is highly recommended that applicants prepare for these documents early.

- Submission deadline: no later than 5:00 PM on Wednesday, June 10, 2026
  - \* If applicants can't submit a paper version of official score certificate of either TOEIC or IELTS by the above-mentioned deadline, they should submit these documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to Cluster C, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (Admissions for Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management) by 4:00 PM on Friday, July 17, 2026.
- Submit to: Kyoto daigaku-Katsura, Kyoto University, Nishikyo-ku Kyoto 615-8540  
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management).  
TEL: 075-383-3521

○ Assessment of English Ability

- English ability will be evaluated on the basis of your TOEIC, IELTS or TOEFL scores (these tests must be taken

after August 1, 2024). Either of the following specified documents is to be submitted or sent by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to “C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University” by the due date. Please note that no applications will be accepted after 4:00 p.m. on Friday, July 17, 2026.

<TOEIC>

- A printed “Digital Official Score Certificate” is acceptable as well as Official Score Certificate. In both cases, these score certificates must be submitted in paper form. We only accept official TOEIC Listening & Reading test. Please note that score certificates for group examinations such as TOEIC IP are invalid.

<IELTS>

- Applicants need to make a request to IELTS Official Test Centre to send your Additional Test Report Form (paper form) directly to our departments no later than the due date. Photocopies will not be accepted. We only accept IELTS (Academic Module). Both Paper-based IELTS and Computer-delivered IELTS are accepted, but IELTS Online is not acceptable.

<TOEFL>

- Applicants need to make a request to ETS (Educational Testing Service in USA) to send your Institutional Score Report to our departments no later than the due date. The Institution Code (DI Code) for our departments is "C092". Note that we do not accept any inquiry concerning arrival of Institutional Score Report.
- We only accept TOEFL-iBT (Internet-Based Test). Either TOEFL iBT Paper Edition or TOEFL-iBT Home Edition are not acceptable. TOEFL MyBest Scores are not accepted. Please note that score certificates for group examinations such as TOEFL-ITP are invalid.
- Successful applicants will be disqualified if submitted documents are later found to be fraudulent.
- Indicate whether you wish to have the official score certificates returned using the “Application Form for Selection Method and Submission of English Official Score Report” (Form M1) during applications.

## VII. Selecting your course after enrollment

Three types of educational course programs are available after entry to the Master's Program. The courses below can be taken upon passing of entrance examinations for category “Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management.”

- Postgraduate Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)
- Postgraduate Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
- Master’s Course Program

Applicants’ course assignment is determined on the basis of their preference and entrance examination results. Survey on preference will be conducted through applications of “Selection of Course Program” (Form M2).

## VIII. Course details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to “X. Educational Programs in Master’s Program” of this guideline.

[Advanced Engineering Course] [Master’s Course Program]

- Department of Civil and Earth Resources Engineering  
To develop new industries and foster new cultures and to realize safe, secure, and active sustainable urban systems, in harmony with the environment, it is essential to promote technological innovation in areas of human activities, particularly public infrastructure structures. The Department of Civil and Earth Resources Engineering aims at realizing the development of cutting-edge technologies as well as safe and secure enhanced public infrastructures that is in harmony with the environment and sustainable use of underground resources. It aims to contribute to the development of scientific technologies that support building public infrastructures.  
For this, we develop talents with a good understanding of global-scale issues of environment and energy as well as those who have the basic competence in engineering science to develop new technologies from global and multilateral viewpoints and the skills to apply the learnings to solve the real-world problems. In other words, we develop advanced technicians who have advanced engineering basics regarding: 1. Advancement of cutting-edge technologies based on engineering basics, 2. Elucidation of natural disaster mechanisms and improvement of

disaster-mitigation technologies, 3. Enhancement of integrated planning and design technologies for public infrastructure and its management, 4. Utilization of underground resources energy for the sustainable development of society, and 5. Provision of solutions for the realization of low-carbon society.

In the Advanced Engineering Course, we develop international researchers/technicians with in-depth basics of engineering through advanced and cutting-edge basic research in the Doctoral Program and through research on applications technology that can immediately respond to real-world issues.

○ Department of Urban Management

Comprehensive urban management is required to guarantee a high-level quality of life and establish sustainable and globally competitive urban systems. The Department of Urban Management aims at developing methodologies and engineering systems for the comprehensive management of urban systems under the condition of protecting global/regional environments. From an interdisciplinary perspective that encompasses social sciences and humanities, it aims to integrate engineering technologies such as management technologies, advanced information technologies, public infrastructure technologies, and energy structure technologies.

We develop talents with advanced all-round potentials and advanced problem-solving capabilities in areas including social sciences and humanities. In other words, we develop international advanced technicians with high problem-solving capabilities regarding: 1. Advancement of public infrastructure through innovation in urban communication and information technologies, 2. Disaster risk management in the advanced information society, 3. Comprehensive and efficient urban infrastructure management, 4. Development of public infrastructure that suits the globalization era, and 5. Urban management based on the limited resources theory.

In the Advanced Engineering Course, we develop international leaders of researchers/technicians with comprehensive management capabilities in urban systems through practical and interdisciplinary research in the Doctoral Program.

## IX. Other

○ Explanatory Meeting Regarding Entrance Examinations

We plan to hold an explanatory meeting regarding entrance examinations.

We will post details on dates, time, and venue on the website of the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management.

Website:

Civil and Earth Resources Engineering Department: <https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/en/>

Urban Management Department: <https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/en/>

○ Special Measures for Response to Changes in Social Conditions :

Due to changes in social conditions, the entrance examination and test details are subject to change. When change is made, information will be posted on the websites of the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management. Be sure to check the latest information.

○ Inquiries

Kyoto daigaku-katsura, Kyoto University, Nishikyo-ku, Kyoto, 615-8540

C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University

(Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management).

TEL: 075-383-3521